

沖縄県公安委員会定例会会議録（令和8年1月15日）

1 主な報告等

(1) 沖縄本島南部において連続発生した窃盗等事件の検挙について

委員から、交通ルール違反を端緒として被疑少年グループを判明させたことは、警察官の捜査感度の高さを感じた。事件ごとにグループ内で共謀者が入れ替わっているのは、まるでトクリュウさながらだ。中学生がグループの首謀者というのも驚きだが、今の時代を反映しているように感じる。人数も多く捜査も大変だったことと思うが、組織の構成や役割などがよく分析されている。これからもこのようなケースが増えると思うので、今回の経験は今後の捜査にいかせるだろう。一方、被疑者とはいえまだ少年なので、早めに事件を終わらせ、再犯防止にも力を入れてほしい。警察に検挙され、処分を受けた少年が学校や社会へ復帰するには、受け入れる側の都合もあり、なかなかハードルが高いと思うが排除してはならない。警察、学校、スクールサポーター等が連携し、一人一人の少年に向き合い、地道にやってほしい。置かれた環境、学歴など、少年の間にも大きな格差があり、どこかに犯罪に至ってしまう道があると思うので、引き続き少年事件捜査と健全育成に力を入れてほしい旨の発言があった。

(2) 令和7年年末年始の交通安全県民運動の実施結果について

委員から、交通安全県民運動前にも警察官が検問をしているところをよく見かけ、警察としても飲酒運転の取締りに力を入れていると感じていた。それでも、期間中と知りながらこんなにも飲酒運転が多いのはとても残念に思う。今回、県警が事業所と「飲酒運転違反情報通知制度」の協定を締結したことは、素晴らしい取組だ。経済的負担や懲罰的要素もなく、飲酒運転根絶のために非常に良い制度だと思う。事故が起きれば、被害者はもちろん、本人も多大な犠牲を負うことになる。色々な方法で交通事故防止を図ることが大切である。車を使用する会社や、人が多い企業などを中心に通知制度を広めるなど、引き続き飲酒運転根絶対策を推進してほしい旨の発言があった。

(3) その他

警察本部から、年末年始は交通安全県民運動だけでなく初詣の雑踏警備や、先週末は二十歳の集いに伴う警戒など、事件事故の未然防止に取り組んだ。今年一年間、気持ちを新たにして、職員が一丸となって各種課題解決に向けて取り組む所存でありますので、引き続き県民目線に立った提言を賜りたい旨の発言があった。

2 主な決裁等

(1) 警務部

- ・ 公安委員会宛て苦情の受理について
- ・ 公安委員会宛て苦情の受理及び調査結果について
- ・ 令和7年第7回沖縄県議会結果報告について

- ・ 監察関係報告
 - ・ 裁決書の事前説明について（2件）
- (2) 刑事部
- ・ 公安委員会宛て苦情の調査結果について（2件）
- (3) 交通部
- ・ 自動車運転免許の行政処分について
 - ・ 自動車学校への行政処分の執行について